



## <表彰>

大矢会員が日本芸術院賞を受賞しました。親松会長よりお祝いの花束が贈呈されました。

大矢会員→「日本芸術院賞を頂くことができました。元気にさらに上を目指して頑張っていきたいと思います」。



## <祝い事>

赤本委員長

- 会員誕生 左藤会員、伊藤会員、中島健児会員、関田会員
- 配偶者誕生 平岡会員の配偶者様
- 会員入会 小塚会員、小島会員、平岡会員、近藤会員、笠会員、阿久澤会員、米会員、山木会員

## <会長報告>

親松会長

先に、理事会報告です。

- ・ 入会者の件
  - ・ 地下鉄延伸早期完成期成同盟年会費の件
  - ・ 大矢会員の日本芸術院賞受賞の件
  - ・ 本日卓話者お礼の件
  - ・ 家族感謝会の件
  - ・ 4月、5月例会プログラムの件
  - ・ 職場訪問の件
  - ・ エリアマネジメントコンソーシアム、麻生区民祭協賛の件
  - ・ 6/25夜会の件
  - ・ 安藤美恵子会長エレクトの会長指針の件
- 以上、全て承認可決されました。

以下、会長報告です。

- 1.2022-23年度地区資金本会計・特別会計 決議御礼の件
  - 2.RYE23-24受入学生近況報告⑧・24-25派遣学生オリエンテーション⑤
- 4/13(土)15:00~17:00 廣東飯店

- 3.ロータリー親睦活動グループバイク全国例会および大親睦会IFMRジャパン大会  
北海道開催2024の案内

7/27(土)17:30 例会開催 例会終了後18:00 大懇親会  
7/28(日) 記念ツーリング

## <幹事報告>

伊藤委員

### \* 当クラブ例会・案内

- 4/7(火) 川崎百合丘ロータリークラブ杯  
開会式7:30 片平球場集合
- 4/9(火) PETS報告
- 4/16(火)・17(水) 職場訪問
- 4/23(火) 地区ラーニング協議会報告  
リハーサル例会

### \* 近隣クラブ例会変更・案内

川崎高津RC

\* 大矢会員の受賞の新聞が各テーブルに置いてありますのでお持ちください。

## <ニコニコ委員会>

山口委員

国際ロータリー第2590地区職業奉仕委員会副委員長 横浜港北RC 桑原薫様→「本日、お世話になります。よろしくお願ひ致します」。東京たまがわRC会長 廣瀬由香様→「先日の観桜会ゴルフコンペ及び懇親会にご参加いただきありがとうございます」。東京たまがわRC幹事 善養寺大作様→「本日はバナーをお持ちしました。今後とも仲良くよろしくお願ひ致します」。当クラブより、親松会長→「桑原様、本日の卓話宜しくお願ひ致します」。赤本会員→「一昨日の3月31日(日)麻生区役所に婚姻届けを提出いたしました」。伊藤会員→「本日は、たくさんのお客様にお越しいただきありがとうございます」。大矢会員→「この度日本芸術院賞を受賞しました。ありがとうございます」。鈴木清会員→「一昨日は妻の誕生日にステキな花をいただきありがとうございます」。以下、感謝をこめてニコニコへ。阿久澤会員、安藤亨会員、安藤美恵子会員、福家会員、畑山会員、井上勇会員、鴨志田会員、北島会員、小島会員、近藤会員、小塚会員、永田会員、中島眞一会員、中島健児会員、中村会員、大野会員、左藤会員、関田会員、嶋会員、鈴木岳人会員、鈴木孝英会員、玉井会員、渡邊会員、結城会員、山口会員。

### <出席委員会>

玉井委員長

	会員	出席	欠席	マーク	出席率
第2145回	45	33	12		73.33%
第2144回	45	33	12	3	80%

### <ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
ニコニコ	33件	46,000円	1,020件	995,358円
財団	0件	0円	15件	299,000円
ベネファクター	0件	0円	1件	139,000円
米山	0件	0円	19件	250,000円

### <職場訪問について>

北島委員長

参加者は22名です。行程はお配りした資料の通りです。集合場所は新百合ヶ丘の笹子うどん店で6時に出発します。宇都宮で観光し、その後株式会社シグマさんを見学する予定です。

### 本日のプログラム

#### <招聘卓話>

国際ロータリー第2590地区職業奉仕委員会副委員長  
横浜港北RC 桑原薫様

今日はお招き頂きましてありがとうございます。職業奉仕については皆さん色々な方から色々な話を聞いていると思います。職業奉仕については間違った概念が広まってしまっているのです、この短時間でそれを説明するために今まで聞いた話を訂正せねばならないことが多くあります。「入りて学び出でて奉仕せよ」という言葉がありますが、この言葉は正しくはロータリーの中で学びロータリーの外で各々が活動しなさいという意味です。何を学ぶのかというとサービスの理論を学びなさいということなのです。奉仕の理論、奉仕の理想、奉仕の理念の3つの言葉の正確な違いを人に説明できる方はいらっしゃいますか？

1922年に「このServiceの原理を、個人生活・職業生活・社会生活にApplication（応用）することを、人に勧め、自分の心に抱き続けること」という「倫理運動」が推奨されました。この運動は、翌年Community Serviceと命名されました。これを社会奉仕と訳したので職業奉仕がわかりにくいものとなりました。職業奉仕と表された、本来は社会的な務めという運動は、この運動を3つに分けたものの一つで職業奉仕と言われているVocational Service

です。社会奉仕が理解できないと職業奉仕は理解できません。米山梅吉翁はServiceを「サービス」と訳しました。The Ideal of Serviceを「サービス理想」と訳しましたが、1934年に外国語を禁止する提案によって「サービス」は「奉仕」に「サービス理想」は「奉仕の理想」に書き換えられてしまったために「Service（有益な働き＝貢献・提供・寄与）が利益を生む」という真意が伝わりませんでした。ロータリーの原理、哲学は見事で素晴らしいものです。それが「奉仕」と書き換えられたことで伝わりにくくなってしまいました。「奉仕」と「サービス」はニュアンスの違い程度で基本的には同じものと思われがちですが、全く反対の意味です。産業革命により「サービス」の意味は変わりました。果たすべき務めであり、日本語にすると業務、役務、勤務などです。人の役に立つ働きという意味もあります。寄与、貢献などです。奉仕は本来仕えるという意味でしたが、徳川幕府が尽くす、見返りを求めないという意味を追加しました。奉仕もサービスも時代とともにどんどん意味が変わっているのに、辞書には同じようなものとして載っているのが皆さんが混乱するのだと思います。「奉仕奉仕と叫んで奉仕活動をする人たち、奉仕の心で奉仕活動をしている人たち、一見立派に見えますが、そういう方々は商売はどういう心でやっているのでしょうか。見返りを求めずに商売できますか。損得抜きで商売できますか。できません。つまり商売は他の心でやっているのです。心を使い分けている。そういうことをやめましょう。一つの心で生きていきましょう。戦略を尽くすのではなく素直な心で商売すればかえって儲かるのではないかと。しかもその心で生きていけば本当の幸せが掴める。周りの人たちも幸せにできます」とロータリーは言っています。シカゴが無法地帯であった1900年代初頭、そのような社会の中で正しく生きようと言い出した人たち、素直な心で商売をしようと言い出した人たち、どれほど立派な人たちが集まっていたのでしょうか。想像もつかない社会でそれほど立派な先達があったのです。素晴らしい哲学です。これをどうしても皆さんに理解して頂きたいです。そしてこの哲学を共有すればロータリアンがすぐやめてしまうことなく、本当に立派な人たちが会員増強できると思います。職業奉仕は本来Vocational Serviceです。職業上の務めです。「サービス理想の原理」とは一言で言うとサービスをすると儲かるよということです。奉仕して感謝されて気分がいいとい

う話ではなく、サービスは儲かるという話です。超我の奉仕も同じ意味です。出し惜しみして給与を少なくし事業主が儲けるという儲け方ではなく、むしろサービスした方が働く人のモチベーションも上がり儲かるという話です。ロータリーの素晴らしい原理をビジネスに応用すること、そのことを人に勧め自分の心に抱き続けること、それが職業奉仕です。職場訪問をすることだけが職業奉仕ではありません。しかし職業奉仕は新しい知識が入るので行った方がいいと思います。きちんと理解すればロータリーの哲学はどれほど素晴らしいかわかると思います。それが真の会員増強につながっていくと思います。



親松会長より桑原様へ卓話のお礼が渡されました。

<点鐘>

親松会長

